

愛知教育大 入学式で国歌を斉唱

東海3県 国立大法人化後初

刈谷市の愛知教育大で国歌が斉唱された。4日、入学式が行われ、東海3県の6国立大で、同日入学式で初め、3月23日の同大卒業式では初めて。



入学式で国歌を斉唱する新入生や教職員ら
―刈谷市の愛知教育大で

業式での斉唱に続くもので、2004年4月の国立大学法人化以降では初めて。

式場の講堂ステージには国旗も掲げられた。開式の辞に続き国歌が斉唱され、新入生1126人らがCDの伴奏で歌った。

国旗掲揚と国歌斉唱は昨年6月、下村博文・文部科学相(当時)が、国立大学協会の学長会議で入学式と卒業式での実施を要請し、議論を呼んだ。

新入生の男子学生(18)は「小中高の入学式や卒業式、スポーツ

大会の開会式で歌ってきたから、違和感はない」と明かした。入学式後、後藤ひとみ学長は「大学独自の判断で決めた。小中高校では学習指導要領に沿って

国歌を斉唱しており、その教員を養成する大学で行わない理由はない」と話した。一方、松田正久・同大前学長(68)は「大学の自治を守ってこそ学

問の自由や批判精神が保障され、大学の存在価値がある。これで愛教大は戦前の師範学校に逆戻りしたと言わざるを得ない」と批判している。【安間教雄】